

学力向上フロンティアスクール事業中間報告

都道府県名	福岡県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	犀川町立犀川中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	0	6	18
生徒数	46	70	57	0	173	

研究の概要

1. 研究主題

<p>確かな学力の向上を図る学習指導法の研究</p> <p>評価を生かした授業づくりと指導方法の工夫及び基礎学力定着を支援する日常的な取り組みを通して</p>
--

2. 研究内容と方法

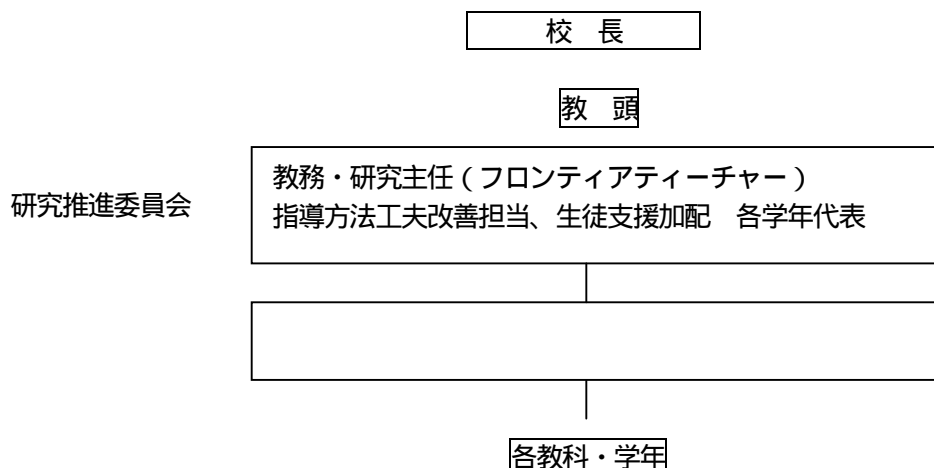
(1) 実施学年・教科

<p>数学（全学年） 平成5年より県単TTをはじめ、平成12年から指導方法工夫改善加配（少人数指導）を受けている教科であり、昨年度犀川町学力向上実践交流会で研究実績のある教科であるため。</p> <p>国語（全学年） 平成13年度より指導方法工夫改善加配（少人数指導）を受けている教科であり、昨年度犀川町学力向上実践交流会で研究実績のある教科であるため。</p> <p>社会（全学年） 昨年度の犀川町学力向上実践交流会で当該教科に関する研究実績があるため。</p> <p>英語（全学年） 昨年度の学力実態調査から、生徒の理解の状況に差が大きく、生徒の基礎的な学力向上に力を入れなければならない教科であるため。</p>
--

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	4月	研究推進体制づくり・研究計画立案	
	5月	学力実態調査の実施と課題把握	
	6月	理論研究と教科の授業研究 指導主事を招聘した公開授業と協議会の実施（国語・数学・英語）6月6日、6月16日、6月23日、6月27日	
	7月	基礎学力の定着を支援する日常的な指導体制づくり	
	8月	一年次の研究推進計画の修正	
	10月	指導主事を招聘した公開授業と協議会の実施（数学）10月28日	
	11月	二学期公開授業、保護者対象の教育講演会（学力向上と家庭学習の支援）11月21日	
	12月	実践交流会のための第1回打合せ（指導主事招聘）12月9日	
	1月	第二次案内発送（1月7日）指導案・紀要・交流会（分科会）作成（1月15日）	
	2月	実践交流会のための第2回事前打合せ（指導主事招聘）（2月6日） 学力向上フロンティアスクール事業実践交流会（2月23日）	
	3月	1年次のまとめ	
平成16年度	4月	研究計画の見直し	9月 授業研究と協議会
	5月	学力実態調査	10月 紀要・指導案・協議会資料作成
	6月	授業研究会と協議会	11月 学力向上フロンティアスクール事業実践交流会
	7月	公開授業	11月26日（金）
	9月	指導案作成	12月 研究のまとめ

(3) 研究推進体制
研究推進組織



部会の内容

部 会	内 容
授業改善 部会 5名	○公開授業研・授業反省会の提案・実施 ○少人数指導による授業の提案・実施 ○指導方法や評価方法の提案・実施 ○体験的学習や問題解決的な学習の効果的な活用の提案・実施 ○地域の教育力や教育資源の開拓と活用計画の提案・実施 他校の研究会資料収集
基礎学力 定着部会 5名	朝自習・ドリルタイムなど読み・書き・算等の日常的指導計画立案 ○家庭学習ノートの導入と実施 ○継続的な家庭学習の啓発 ○選択教科のコース別学習実施計画 ○長期休業中の補充学習の立案・実施 計算・漢字・英単語コンクール実施計画
学力分析 部会 2名	○学力実態調査の立案、実施 ○調査結果の分析と課題解決の手立ての提案 ○自己評価表・授業評価表の提案

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

生徒の実態に応じた柔軟な指導方法を工夫した授業づくりができた。
読・書・算などの基礎学力を支援する日常的な取組みの指導体制が整った。

2. 今後の課題

実態調査をもとにした課題を解決するための各教科の単元計画の工夫が必要
評価を指導に生かす単元計画と一時間一時間の授業づくりの工夫（授業形態・学習材の工夫）
家庭学習の啓発と支援の工夫
学習意欲を高める指導方法や評価方法の工夫

学力把握のための学校としての取組

各種調査等	時 期	目 的	内 容
学力実態調査	5月 1月	過年度に履修した学習内容の定着を診断し、各教科の課題を把握し、年間指導計画の具体的方策を立てる。	学習内容を観点別項目で診断する。

学校評価アンケート	7月・12月	生徒・保護者・教師を対象に、共通の項目でアンケートを実施し、課題を把握し、学校改善に生かす。	学校生活・授業指導・生徒指導・学校行事など
生徒会学習委員会主催のコンクール	各学期毎	基礎学力の定着を支援する日常的な指導と、生徒の主体的な取り組みとして、全校一斉に中学校一年生までの内容の基礎的な読・書・算の力を定着させる。 (取り組み期間は2週間程度)	一学期 計算コンクール 二学期 漢字コンクール 三学期 英単語コンクール
定期考査	毎学期	各学年の履修内容の定着度を診断をし、その後の学習指導に生かす。	中間・期末テスト 学習到達度テスト 長期休業明け評価テストなど
その他各種検定	学期毎	英語能力の育成	英検 (希望者)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

* 研究発表会(予定)	2月23日(月)	学力向上フロンティアスクール事業実践交流会 本校で開催し、管内及び県内に一年次の研究の一端を公開し、実践を交流することによって次年度の取組みに生かす。
* 研究成果普及のための紀要作成等	12月～2月	一年次の実践の概要を掲載
フロンティアティーチャーとしての研究成果普及のための活動実績	7月～11月 12月～1月	県内研究発表校の実践交流会に参加 中間東中・黒崎中・芦屋中・仲津中・久留米中・馬場小 単元事例集の作成普及 国語 = 2事例 社会 = 1事例

【新規校・継続校】	15年度から新規校	14年度からの継続校
【学校規模】	3学級以下 7～9学級 13～15学級	4～6学級 10～12学級 16学級以上
【指導体制】	少人数指導 その他	T・T指導
【研究教科】	国語 社会 数学 理科 外国語 音楽 美術 技術・家庭 保健体育 その他	
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】	有	無